厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

会長　会田義明
副会長　西迫　哲
幹事　髙橋　浩
副幹事　十亀健志
会報・IT　栗原良幸

世界へのプレゼントになろう

2015～2016　国際ロータリー会長　K.R. "ラビ" ラビンドラン

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2674回例会（10月20日）☆司会　市川信也君

点鐘　…会田義明会長

斉唱　…我らの生業

ゲスト紹介

㈱浜銀総合研究所 本城直樹様

彭（ホウ）　奕禎（イシン）君（米山奨学生）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・2015-16年度地区大会決議（案）
◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会　より
・ハイライトよねやま　187
◎厚木市友好交流委員会　より
・友好都市（大韓民国京畿道軍浦市）10年記念式典・歓迎会
11月6日（金）午後6時30分　レンブラントホテル厚木

幹事報告

◎例会変更
・大和RC
平成27年11月 3日(火) → 祭日休会
平成27年11月10日(火) → 11月7日(土)、8日(日)
やまと産業フェアに振替の為休会
平成27年12月15日(火) → 12月20日(日)
クリスマス家族会に振替の為休会
平成27年12月29日(火) → 取止め例会

委員会報告

◎親睦活動委員会
職業奉仕・親睦活動合同例会について

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊事業所開設
具島健太郎君（30日）
加藤一郎君（11月1日）
髙橋伸一郎君（11月4日）
米山尚登君（11月5日）
滝澤　勇君（11月9日）

＊会員誕生日
前島憲司君（30日）
市井雄二君（31日）

＊夫人誕生日
西迫　哲君
（初美夫人29日）
髙橋　浩君
（香夫人11月2日）

＊結婚記念日
柳田純昭君（11月2日）
小林　透君（11月3日）
十亀健志君（11月9日）

今日の例会（2015年10月27日）

「職業奉仕・親睦活動合同例会」（移動例会）
担当：職業奉仕委員長 常磐重雄君
親睦活動委員長 森住　等君

次回の例会（2015年11月10日）

「ロータリー財団月間」
担当：R財団委員長 前島憲司君

スマイル

会田義明会長

10月17日土曜日に西迫副会長が、社会福祉法人 神奈川やすらぎ会「みらくる保育園」を開園され、内覧会及び開所式典に厚木ロータリークラブ会長として招待され、出席して参りました。当日は理事長・園長を始めとしてスタッフの方々から過分なるおもてなしをいただいたことに感謝を申し上げ、貴保育園のますますの発展を祈念致しましてお祝いのスマイルをさせていただきます。おめでとうございました。また、㈱浜銀総合研究所 本城様、本日の卓話よろしくお願いします。

西迫　哲副会長

お陰様で、17日にみらくる保育園の竣工式をとりおこないました。その際には、多くの皆様にお気づかいいただきありがとうございました。25日に内覧会、11月1日に入園式を開催し、本格稼働となります。これからも宜しくお願い致します。

三橋一皓君

本日、ワイフの誕生祝いのお花を頂きました。素晴らしい盛り花の前で、嬉しさと面はゆさで、感激しておりました。本当に有難うございました。

柳田純昭君

㈱浜銀総合研究所 本城様、本日は卓話においでいただき有難うございます。5年前、私が会長年度にも卓話をしていただいております。どうぞ宜しくお願いします。

栗原良幸君

結婚記念日の御祝いありがとうございました。今日で、ちょうど30年になります。長い様であり、短い様であり…。

西嶌洋一君

所用のため早退致します。

今日のお花

秋明菊（しゅうめいぎく）・椚（くぬぎ）の葉・柿の葉（山本淳一君）

卓話「昼夜間人口比率にみる厚木市の特徴」

担当：恵津晴夫君

講師：㈱浜銀総合研究所 本城直樹様

厚木ロータリークラブ卓話資料

「厚木市の特徴、厚木市における銀行の歴史」

～昼夜間人口比率などから再考する～

平成27年10月20日

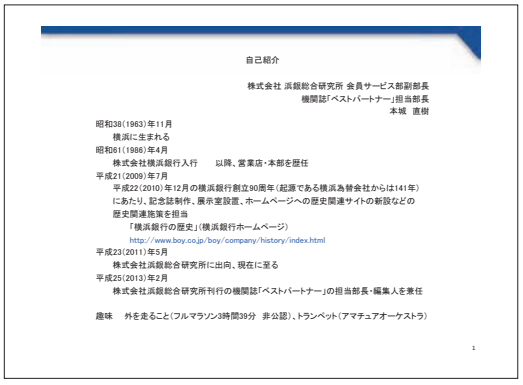
株式会社 浜銀総合研究所

会員サービス部　　本城　直樹

横浜市西区みなとみらい3-1-1

TEL：045-225-2376　FAX：045-225-2389

e-mail：honjo@yokohama-ri.co.jp



自己紹介

株式会社 浜銀総合研究所 会員サービス部副部長
機関誌「ベストパートナー」担当部長
本城　直樹

昭和38（1963）年11月
　横浜に生まれる
昭和61（1986）年4月
　株式会社横浜銀行入行　　以降、営業店・本部を歴任
平成21（2009）年7月
　平成22（2010）年12月の横浜銀行創立90周年（起源である横浜為替会社からは141年）
　にあたり、記念誌制作、展示室設置、ホームページへの歴史関連サイトの新設などの
　歴史関連施策を担当
　　「横浜銀行の歴史」（横浜銀行ホームページ）
　　http://www.boy.co.jp/boy/company/history/index.html
平成23（2011）年5月
　株式会社浜銀総合研究所に出向、現在に至る
平成25（2013）年2月
　株式会社浜銀総合研究所刊行の機関誌「ベストパートナー」の担当部長・編集人を兼任

趣味　外を走ること（フルマラソン3時間39分　非公認）、トランペット（アマチュアオーケストラ）

1

1. 県内市町村の昼夜間人口比率

昼夜間人口比率
昼間人口（就業・就学人口）／夜間人口（居住人口）
（昼間に観光に来た人数は含まない）

県内市町村での昼夜間人口比率上位（平成22年国勢調査にもとづく）
①箱根町　149.0%
②中井町　127.8%
③厚木市　114.9%　県内で100%を超えている「市」は厚木だけ
④平塚市　99.6%
⑤鎌倉市　97.8%
⑥愛川町　97.7%
全県平均　91.2%

県内政令3市は、市全体ではすべて100%割れ
横浜市　91.5%、川崎市　89.5%、相模原市　87.9%
「区」単位に分けてみた場合でも、100%超は、
横浜市西区179.7%、横浜市中区166.6%、川崎市川崎区119.8%の3区のみ

2. 全国の県庁所在市の中でも横浜は独特?

横浜市の昼夜間人口比率（平成22年国勢調査にもとづく）
昼間人口（就業・就学人口）／夜間人口（居住人口）＝91.5%
（昼間に観光に来た人数は含まない）

県庁所在市の昼夜間人口比率
県庁所在市は、ほとんどが100%超
100%割れは、大津92.1%、さいたま92.8%、奈良94.6%、千葉97.5%と横浜の5市のみ
横浜の91.5%は全国の県庁所在市の中で最も低い

東京・江戸に近い、近すぎる　　江戸時代は、天領と小藩のみ
開港によって初めて歴史の表舞台に登場した

横浜村はわずかな人口の寒村だった
歴史に名を残すのは鎌倉・小田原や、東海道の宿場町＝箱根駅伝コース
歴史ある都市がヨーロッパだとしたら横浜はアメリカ

3. 武相国境

横浜市の区の変遷（市域への編入と分区など）

小規模な区境変更を除く。
横浜市以外の神奈川県域では、川崎市全域が旧武蔵国、川崎市以外の全市町村が旧相模国。

武相国境は、横浜市域においては、東京湾側と相模湾側の分水嶺
1889年の市制施行から数度の市域拡張を経て、1927年の区制施行時の横浜市はすべて武蔵国
1936年の市域拡張で、相模国鎌倉郡永野村（永谷＋野庭）が横浜市中区に編入される
⇒1943年、永野村域は南区へ　⇒1969年、現在の六ツ川四丁目地区のみ南区に残し、港南区へ
（南区六ツ川は、一丁目～三丁目が旧武蔵国久良岐郡、四丁目が旧相模国鎌倉郡）
1939年の市域拡張で、相模国鎌倉郡戸塚町・瀬谷村など7か村が横浜市に編入され、戸塚区（当初）に
⇒1969年、瀬谷区が分区　⇒1986年、栄区・泉区が分区
現在の横浜市域は、**最初の戸塚区（現在の戸塚・瀬谷・栄・泉の4区）と、港南区のほぼ半分、南区六ツ川四丁目地区が旧相模国（鎌倉郡）**で、**他は旧武蔵国（久良岐郡・都筑郡・橘樹郡）**

4. 神奈川県、特に厚木における戦前期の銀行の変遷

1. 銀行の誕生、設立ラッシュの時代
戦前期、神奈川県＋町田市には81行もの銀行の本店が誕生した。
横浜には39行も誕生し、県内各地それぞれに銀行本店があった。
明治末期がその数のピークであった。

厚木には、厚木会社（⇒厚木銀行⇒相模実業銀行と改称）が誕生。

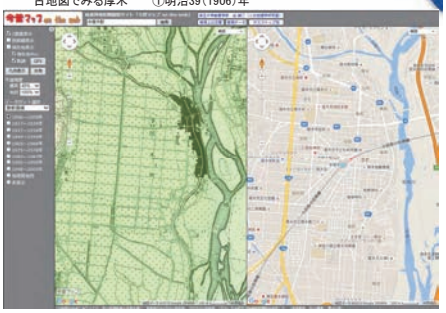
2. 銀行統合の時代
第一次大戦後の反動恐慌（大正9（1920）年）、関東大震災（大正12（1923）年）、昭和金融恐慌（昭和2（1927）年）などを経て、
廃業・破綻、合併・統合が加速する。
その後、戦時体制下において地方的金融統制の体制確立をめざした「一県一行主義」の政策に沿う形で、神奈川県では、横浜興信銀行（現在の横浜銀行）が唯一の本店銀行となった。

厚木会社を起源とする相模実業銀行は、鎌倉銀行厚木支店を経て横浜興信銀行厚木支店となった。

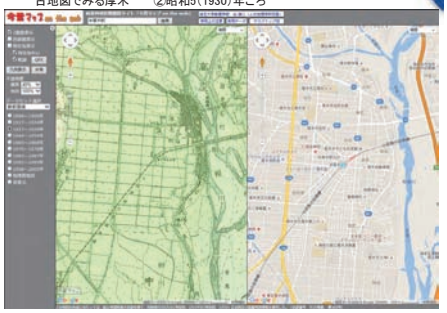
銀行・交通インフラなどからみた厚木の歴史年表

西暦	和暦	項目
1859	安政6	神奈川の一部とみなし横浜村を開港
1868	明治2	横浜為替会社設立（横浜・本町）　現在まで唯一継続する日本初の近代銀行
1890	明治22	厚木会社設立（厚木銀行の前身）
1896	明治29	厚木銀行設立（厚木実業会社改称）
1908	明治41	八王子に本店を置く第七十八銀行厚木支店の休業、支配人辞任などで厚木地区の経済混乱
1908	明治41	第七銀行厚木支店開店
1910	明治43	関東興業銀行（ヌルガ銀行）神奈川県への進出第1号店として厚木支店開店
		以降、厚木には厚木銀行本店と第七銀行支店・関東興銀行支店の3行の時代が続く
1915	大正4	厚木銀行　相模興業銀行に改称
1920	大正9	横浜最大の普通銀行が破綻
		預金者救済のための新銀行・横浜興信銀行設立（現在の横浜銀行）
1923	大正12	関東大震災
1926	大正15	神中鉄道　厚木～愛川間開業（後、相模鉄道）
1927	昭和2	六ツ川（現在の横浜市南区）、長（後の相鉄線）開業
1929	昭和4	神中鉄道　二俣川から厚木を経て海老名に至る区間（後、相鉄線）
1930	昭和5	鎌倉銀行、相模興業銀行と合併　新たに鎌倉銀行本店は鎌倉銀行厚木支店となる
1935	昭和10	鎌倉銀行　鎌倉銀行に改称＝相模実業銀行
		鎌倉銀行厚木支店は相模実業銀行厚木支店が継承
1941	昭和16	鎌倉・明和・平塚江陽・相模・秦野・足柄農商の6行が横浜興信銀行と合同
		県内の普通銀行は横浜興信銀行一行となる（一県一行）
		鎌倉銀行厚木支店は横浜興信銀行厚木支店となる
1945	昭和20	終戦
1945	昭和20	神奈川県・横浜市中心部　連合軍主力部隊の進駐により大規模な接収を受ける
1955	昭和30	厚木に市制施行　県内の16市の中で13番目
1957	昭和32	相模興業銀行が行名を変更　第一相模銀行となる
1968	昭和43	厚木市　人口　10万人　突破
1969	昭和44	小田急江ノ島線　全線複々線化完了（厚木駅～小田急相模大野）
2002	平成14	厚木市　県内では小田原・大和、平塚に次いで特例市に指定

古地図でみる厚木　①明治39（1906）年



古地図でみる厚木　②昭和5（1930）年ごろ



昭和40（1965）年の
厚木市明細地図より

市役所・銀行は、駅前ではなく、
246号旧道（相模大橋）と
129号旧道の交差点付近に
集中していた。

横浜銀行厚木支店が
本厚木駅前に移転したのは
昭和48（1973）年

昭和35（1960）年7月の横浜銀行厚木支店（横浜興信銀行から横浜銀行に行名変更して3年後）と
昭和48（1973）年に駅前に移転後の横浜銀行厚木支店（昭和55（1980）年3月撮影）

←
当時の住所
厚木市厚木2596番地
（現在の住居表示
厚木市厚木町5番14号）

→
住所
厚木市
中町2丁目2番1号
（現在と同じ）

Afresh　あなたに、あたらしく。

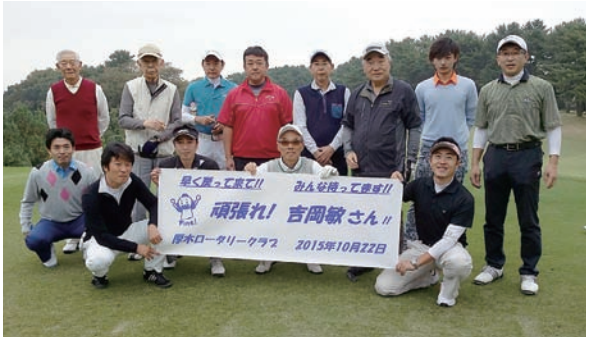
浜銀総合研究所

「第 94 回厚木ＲＣ親睦ゴルフコンペ」

日時：平成27年10月21日(水)

場所：本厚木カンツリークラブ

優勝：小林　良君



出席報告　＜会員 41 名、出席対象 35 名＞

10 月 6 日例会　　確定出席率 81.58％	10 月 20 日例会　　出席 25 名　欠席 10 名　出席率 71.43％
＜事後メイク＞	＜欠席＞ 井上　聡君・志保達郎君・壽永純昭君・高橋伸一郎君 常磐重雄君・前島憲司君・十亀健志君・三宅壯平君 髙橋　宏君・小山賢司君